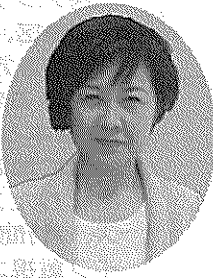


# キャリア権 の 時 代



NPO 法人キャリア  
権推進ネットワーク  
事務局長

早川 由美

NPO法人キャリア権推進ネットワーク  
「キャリア権推進研究会」

## 【第14回】

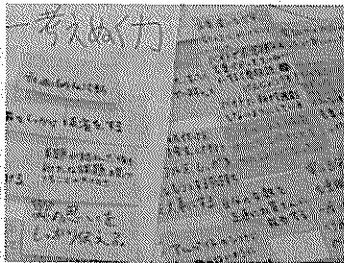
### 授業へ二一ス反映

私が埼玉県の芸術・情報系  
大学でキャリア教育を担当し  
て3年目になる。授業を通し  
て率直に感じた大学生のキャ  
リア観から、キャリア権の考  
え方をどのように伝えてい  
るのかを整理したい。

この大学で  
は、キャリア  
科目が2年生  
の正課授業と  
なっている。  
2年生なので  
就職活動や働くことへの関心  
はまだまだそれほど高くないが、  
大学受験時からある程度の志  
向を持っている学生がほとん  
どだ。なぜなら、この学部は  
映像などのエンジニアやクリ  
エーターの育成を目的として  
おり、彼らの多くは芸術・音

## 自ら学ぶ力を養う

### 準備は学生のうちから



付箋でメンバーと考え共有

一スを把握するためにアンケ  
ートを取っている。「キャリ  
アの授業を通して学びたいこ  
とは何か」「働くために自分に  
必要なことは何か」といつた  
キャリアを意識した質問だ。  
8割程の学生が「コミュニケーション能力」と回答し、そ  
の理由は「社会人として必要」

響・映像・イベント制作会  
社、ゲームソフト制作会社、  
マスコミ・広告会社などへ就  
職を希望しているからだ。  
職業に直結する学部で学ぶ  
学生のキャリア観とほとんどの  
うなものであるだろうか。  
1回目の授業で、彼らの二  
・情報系に限らず今までの若

者の特徴であるともいえよ  
う。

### 他者と自分を知る

一方、エンジニアやクリエ  
ーターは個人作業の多い専門  
的な仕事だといった、就きた  
い職業の大まかなイメージは  
持っている。大学の専門科目  
で実際に機械を使った作業を  
経験しているからだろう。職  
業のイメージを持つること  
が、彼らのキャリア観に大き  
な影響を与える。コミュニケ  
ーション能力は最低限必要だ  
が、希望する仕事にはそれほ  
ど必要ないだろうと考えてい  
る学生も少なからずいる。

私の実践するキャリア科目  
の目的は、社会を知ること、  
多様なものの見方や考え方を  
知ること、他者と自分を知る  
ことだ。これは、キャリア権

3要素の1つ「どう学ぶか」と  
いう学習権につながるものと  
考える。「講義を聴く十自ら  
考える十他者と共有する」と  
いう授業構成の中で、毎回提  
示される「答えのない課題」  
をグループメンバーとともに  
解決の道を探る(写真)。

学生達はこれまでの学びや  
経験を通して、自らが主体的に  
取り組み、思考していかない  
限り、決して誰も答えを与え  
てはくれないことに気付く。  
こういった授業を繰り返して  
いくことは、コミュニケーションを身に付けたいという二  
一スにも応えている。「キャ  
リアを通して、自己実現し、幸  
福を追求する」ためには、主  
体的に取り組む、自ら学ぶ力  
が重要であり、その準備を今  
からしておく必要性を感じ取  
っているようだ。